

# 能代市教育委員会 事務点検・評価報告書

(平成25年度対象)

平成26年8月

能代市教育委員会

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定による事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

I	点検・評価の趣旨等	1
1	点検・評価の趣旨	
2	点検・評価の対象	
3	学識経験者の知見の活用	
4	報告書の作成	
II	点検・評価の結果	
1	教育行政	
	(1) 教育環境の整備	3
2	学校教育	
	(1) - 1 主体的で創意に満ちた教育活動の推進 (読書活動)	5
	(1) - 2 主体的で創意に満ちた教育活動の推進 (ふるさと教育)	9
	(2) 基礎学力の向上を図る学習指導	12
	(3) 心豊かでたくましい子どもをはぐくむ指導	15
	(4) 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	18
3	社会教育	
	(1) 生涯学習推進・社会教育振興	21
	(2) 文化芸術活動の振興と文化財の保存・継承	25
	(3) 生活や地域における課題解決のための学習機会の提供	27
	(4) 芸術文化の振興と福祉の増進を図る	31
	(5) 図書館サービスの充実	34
	(6) 気軽に交流できる環境づくり	38
4	市民体育	
	(1) スポーツを楽しめる環境を整える	40
III	教育委員会の運営状況	
	(1) 教育委員会の開催状況	42
	(2) 教育委員の活動状況	43

# I 点検・評価の趣旨等

## 1 点検・評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定により、平成20年4月から、すべての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務付けられました。

そこで、本市教育委員会は、当該法律の規定により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表いたします。

今年度においても、法律の規定に基づき、事業の点検・評価を実施し、昨年度との比較等を行い、今後のより効率的で効果的な事業の展開に資するものとしします。

## 2 点検・評価の対象

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条で教育委員会の職務権限とされている事務のほか、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象としますが、実際の点検・評価にあたっては、「能代市の教育」に記載されている施策を13項目に集約し、実施しております。

## 3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項で、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められておりますので、本市教育委員会では、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から、意見をいただきました。

○秋田大学教育文化学部教授 佐藤修司氏

○前能代第二中学校校長 佐藤敬頭氏

## 4 報告書の作成

報告書の作成スケジュールは、次のとおりです。

- ①各課及び施設等において、所管事務の点検・評価案（点検・評価シート）を作成
- ②学識経験者から、点検・評価案について意見を聴取
- ③点検・評価案に学識経験者の意見を加えて、報告書として作成
- ④教育委員会8月定例会で、報告書について議決
- ⑤報告書を9月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表

## Ⅱ 点検・評価の結果

施策の項目	(1) 教育環境の整備
方針・目標	①老朽化した小学校プールの改築事業の推進 ②社会教育施設等の耐震化の推進
目標値	①小学校プールの改築 2校 ②二ツ井公民館、向能代公民館、東部公民館及びB & G海洋センターの耐震診断
事務事業の実績	①老朽化した小学校プールの改築事業の推進 ○第五小学校、浅内小学校のプール改築事業 ・プール建設工事 (H24. 11～H25. 6)  ②社会教育施設等の耐震化の推進 ○二ツ井公民館、向能代公民館、東部公民館及びB & G海洋センターの耐震診断 ・二ツ井公民館 本館、講堂とも耐震性が低い。 ・向能代公民館 耐震性が低い。 ・東部公民館 耐震性を確保している。 ・B & G海洋センター 管理棟は耐震性を確保しているが、体育館は耐震性が低い。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る  [説明] 老朽化した小学校プールの改築事業の推進については、2校のプール改築事業が完了した。 社会教育施設等の耐震化の推進については、耐震診断を行った結果、東部公民館については、耐震性が確保されているが、二ツ井公民館、向能代公民館及びB & G海洋センターについては、耐震補強が必要となった。  ※耐震基準 一般建物の耐震基準は、I s 値（構造耐震指標）が0.6以上であるが、今回の耐震診断にあたっては、不特定多数が利用する施設で、災害時には避難施設として使用されることから、I s 値を0.75以上とした。
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ）  [具体的な課題及び取組] ・淳城西小学校プール(S43. 7 開設)の改修を平成26年度に実施する。 ・社会教育施設等の耐震化の推進については、二ツ井公民館、向能代公民館及びB & G体育館の耐震補強を実施し、施設の安全性を確保していく。 ・学校施設の屋内運動場の天井等について、災害時の落下防止対策を講ずるよう文部科学省から通知があったことから、第四小学校、二ツ井小学校を除く全ての小中学校の体育館と二ツ井中学校武道場について、対象箇所数、工事費、緊急性を考慮し、計画的に改修を進める。(工事期間：平成27年度～30年度) ・学校グラウンドの芝生化について、第四小学校及び二ツ井小学校での効果等を検証し、他の学校グラウンドへの導入を検討する。

<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 計画的に耐震化、改修等が進められており、今後とも着実に継続・実施していただくことを期待する。災害時の避難施設として、より高い基準を設定していることは高く評価できる。</p> <p>② 小学校のプールの改築事業については、当初の計画通りに進められており何よりと思う。平成26年度に改築予定の淳城西小学校のプールについても、予定通りお願いしたい。</p> <p>③ 社会教育施設等の耐震診断の結果、二ツ井公民館と向能代公民館、B&amp;G体育館の耐震性が低いとのことであり、これらの中には災害時に地域の避難所として指定されている施設もあることから、早急に耐震補強工事を実施してほしい。</p> <p>④ 学校グラウンドの芝生化については、すでに実施している第四小学校と二ツ井小学校での効果等を検証し、他の小・中学校への導入を引き続き検討してほしい。</p>
----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策の項目	(1) - 1 主体的で、創意に満ちた教育活動の推進（読書活動）
方針・目標	児童生徒の感性を磨き、思考力や表現力を高め、創造力を豊かにするため、各校の年間計画の策定を進めるとともに学校図書館図書の実充を図りながら、読書活動を推進する。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての小・中学校が自校の特色を生かした上で読書活動の実充を図り、平成25年度の秋田県学習状況調査（小学4年から中学2年対象全学調査）の質問紙調査で「読書が好きだ」の割合について、「つよくそう思う」「そう思う」を80%以上にする。</li> <li>・学校図書館の図書の新規購入及び廃棄等の整理を進め図書の実充を図る。</li> </ul>
事務事業の実績	<p>① 「能代市小中学校における読書活動推進計画」に基づいた取組</p> <p>ア 各校の読書活動指導計画の作成（7/26集約完了）</p> <p>イ 能代市読書交流パンフレット「能代っ子おすすめの一冊・心の一冊」を10, 11月の読書週間に合わせて作成し、各校に配布。環境を整えるための掲示とし活用</p> <p>ウ 各校の特色ある読書を共有し、児童生徒の指導に生かすために、読書活動実践事例集を発行</p> <p>エ 特色ある読書活動を教育情報誌「教育のしろ」のコラム「読みの風景」等で紹介</p> <p>オ 図書事務補助員及び図書館担当教諭の研修機会の実施 （5/17 学校図書館担当者会議及び読書活動推進研修会を市立図書館と連携して実施。能代市立図書館の学校向け事業の紹介、図書館担当教諭と学校図書館事務補助員との協働による学校図書館運営について協議、各校の創意ある読書活動や授業における調べ学習のための環境整備について情報交換を実施）</p> <p>カ 学校支援ボランティアの活用促進（8小学校で実施） 他にPTA等の読み聞かせ（全12小学校）、中学生の幼稚園等への読み聞かせ活動（3校：一中、二中、東雲中）</p> <p>キ 市立図書館等との連携 学校への本の貸し出し、館内見学（6校：西小、南小、四小、五小、向小、崇徳小）や職場体験（3校：二中、東雲中、南中）、出前おはなし会（4校：朴瀬小、崇徳小、浅内小、常盤小）の実施</p> <p>ク 「こども読書の日」に合わせ、図書の紹介（朴瀬小、常盤中）や読書指導（二ツ井中）、読み聞かせ（竹生小、崇徳小）、図書紹介集会（一中）を実施</p> <p>ケ 秋田県学習状況調査によると1か月に5冊以上本を読む割合は、小学4年で63.5%（県比+8.5p）、5年で49.7%（+9.2p）、6年で33.4%（+3.3p）、中学1年で16.6%（-2.8p）、2年で11.8%（-3.6p）であり、中学生になると県平均を下回る。学年が上がるにつれて読書の時間を確保するのが困難</p>



	<p>② 学校図書館図書標準達成状況の改善</p> <p>ア 「学校図書館図書標準」の達成を目標とし、各校の学校図書館図書標準達成状況に応じた、図書整備費を措置。適切な配置と廃棄を各校に助言</p>
<p>点 検 評 価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度の秋田県学習状況調査の質問紙調査で「読書が好きだ」の割合は、小学4年から中学2年全体では82.5%となっている。学年別で見ると、小学4年が92.1%（県比+4.0p）、5年が89.9%（+5.0p）、6年が82.7%（±0p）、中学1年が73.5%（-7.0p）、2年が74.5%（-6.1p）で、小学生で達成、中学生で未達成となっている。小学生では、県平均を上回っているが、中学生になると県平均を下回ってしまう。学年が上がるにつれて、スポ小や部活、スマホなどのネット利用の関係で読書の時間が確保しにくいと考えられる。</li> <li>・読書活動推進研修会をとおして、学校図書館の中に学習に関連した図書や新刊図書を集めたコーナーを設け、児童生徒に働きかける環境作りを工夫する学校が増えてきている。また、国語科における本の比べ読みや社会科や総合的な学習の時間における図書を活用した調べ学習を展開できるように環境整備も進んでいる。</li> <li>・全小・中学校で、朝か昼に全校で一斉読書を実施している。新聞を活用したり、購入する本のアンケートをとったりするなど、特色のある読書活動が増えてきている。特に、能代第二中学校、能代南中学校、浅内小学校では、新聞を活用した学習（NIE）を実践し、新聞記事を切り抜いて自分の感想文を書いたり、大事な言葉を抜き出して要点をまとめたりする学習を重ね、読解力や思考力、表現力の向上につながっている。</li> <li>・さまざまな読み手による計画的な読み聞かせは、児童の楽しみな読書活動となっており、読書への関心を高めている。</li> <li>・学校図書事務補助員は、全小・中学校に対して配置し、児童生徒の読書指導や図書館の管理・運営、市立図書館との連携等において補助にあたり効果を上げている。</li> <li>・平成24年度の学校図書館図書標準達成状況は87.3%であったが、平成25年度は89.8%に向上している。</li> </ul>
<p>課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>拡充    <input type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他（                    ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動推進研修会において、「読書好きな子どもを育てるしかけづくり」というテーマを設定して研修会を行う。研修内容として、県立図書館職員の方からブックトークについての紹介、市教委からは読書貯金通帳やビブリオバトル、他校の実践例等、具体的な手立てを紹介して、自校での取組の参考にできるようにする。情報交換や協議もテーマに沿って行う。また、昨年度までの学校図書館担当者会議と読書活動推進研修会を一本化し、学校図書館担当者と学校図書館補助員が始めから終わりまで参加できるようにする。そのことによって、情報を共有し、協働による読書活動や学校間のネットワーク作りを推進できるよ</li> </ul>

	<p>うにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館が取り組んでいる家読ノートについて、読書活動推進研修会で紹介する。また、今年度から渟城南小学校で毎月「家読の日」を設定し、家庭との連携を図っている。実施方法や成果について各校へ情報提供することによって、家庭における読書習慣を形成する「家読」の普及を図る。</li> <li>・今年度、子どもの読書活動を推進するための体制や環境の整備・充実を図る「能代市子ども読書活動推進計画」を策定する。生涯学習・スポーツ振興課が中心となって進めるが、教育研究所の指導主事も加わって計画の原案を作成することによって、学校や家庭における読書活動の具体的な取組に反映できるようにする。</li> <li>・国語の授業では、単元の指導計画の中に並行読書（※）を位置付け、読書への関心や態度を育む指導を充実させていくよう学校訪問等で指導する。  ※並行読書…教科書の教材文と並行して、関連する図書（同じ主人公や作家のシリーズ本など）を読書すること</li> <li>・新学習指導要領では、各教科での学校図書館の学習センターとしての機能の充実を重視しているため、各校で各教科等の指導計画に図書の活用場面を位置づけるよう指導する。（読書活動推進研修会で先進校の事例を紹介）</li> <li>・魅力ある学校図書館環境作りや読書活動を一層進めるため、学校図書館事務補助員が小・中学校を会場に合同研修会を実施し、図書館の見学や情報交換を行う。（夏季休業中 会場は四小と南中）</li> <li>・学校図書館標準達成状況を向上させるために、図書の整理整頓に努めるとともに、廃棄する図書を厳選し必要な図書の補充を行っていくよう指導する。</li> </ul>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 読書活動の推進に向けて様々な取り組みがなされており、高く評価できる。特に、図書事務補助員及び図書館担当教諭による学校図書館担当者会議や読書活動推進研修会を、市立図書館と連携して実施している点は特筆すべき点である。予算が厳しい中ではあるが、学校図書事務補助員を全小中学校に配置していることを、今後とも継続していただきたい。</p> <p>② 中学生で、「読書が好きだ」の割合が下がることから、中学校での読書活動推進について、部活動や定期試験・高校入試との関係も含めながら検討していただくことを期待する。</p> <p>㊦ 能代市読書交流パンフレット「能代っ子おすすめの一冊・心の一冊」の作成・配布は、子どもたちの読書意欲を喚起するうえで効果的と思う。今後は、子どもたちへの周知のし方を工夫し、これまで以上の活用を目指したい。</p> <p>㊧ 学校図書館担当者会議と読書活動推進研修会を一本化したことにより、市教育委員会と学校及び学校間のネットワークづくりが進み、読書活動に関する情報の共有・実践が一層充実するものと思う。</p>

③ 平成27年度には、本県においてNIEの全国大会が開催され、本市内の学校でも新聞を活用した授業の提示が予定されている。これを機会に、当該校のみでなく市内すべての小・中学校においてNIEの活動を充実させてはどうか。

④ 県学習状況調査の質問紙調査において、「読書が好きだ」と答えた小学生の割合が、各学年とも県平均を上回ったことは、これまでの取組の成果であると思う。今後は中学生になっても本に親しめるような環境づくりに、引き続き取り組んでいきたい。

## 2 学校教育

【学校教育課】

施策の項目	(1) - 2 主体的で創意に満ちた教育活動の推進 (ふるさと教育)
方針・目標	児童生徒が地域の自然や人間、社会、文化等と触れ合う機会を重視することにより、ふるさとのよさの発見やふるさとへの愛着心の醸成を目指すために、各校のふるさと教育の趣旨を生かした教育計画づくりや人々とのかかわりから学ぶ体験活動を推進する。
目標値	・自校と地域の特色を生かしたふるさと教育が実施できる計画を作り、ふるさとの良さを生かした学習活動を行う。
事務事業の実績	<p>① 地域の自然や人間、社会、文化を生かした教育計画づくりに基づいた取組</p> <p>ア ふるさと教育の趣旨を生かした教育計画づくりの呼びかけと各校の教育計画の確認</p> <p>イ 小学校で「ふるさと学習交流会」、中学校で「能代っ子中学生ふるさと会議」を開催</p> <p>ウ 特色ある教育活動を教育情報誌「教育のしろ」「ふいご」等で紹介</p> <p>② 人々とのかかわりから学ぶ体験活動の推進</p> <p>ア 学校支援ボランティアを活用した体験活動</p> <p>イ 助成金制度(常盤小・中の森林環境学習や鶴形小の地域活性化推進事業等)を活用した体験活動の推進</p>
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <p>① 各校とも、ふるさと教育の趣旨を生かした特色ある教育計画を策定している。</p> <p>② ふるさと学習交流会では、発表校の4校が次の内容について発表した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 淳城西小学校は風の松原について学習したこと</li> <li>・ 第五小学校は小友沼について学習したこと</li> <li>・ 竹生小学校は竹生神社と地域の偉人</li> <li>・ 浅内小学校は白神ねぎについて学習したこと</li> </ul> <p>他の市内の小学校もそれぞれの地域に関して学習した内容を発表した。</p> <p>発表自体もすばらしかったが、互いの実践を紹介しあい、質問したり感想を交流しあったりすることによって、他の地域のよさに気づいたり、他の学校の取り組みについて理解を深めることができた。保護者や参観した市民の方々から大人が学ぶべきことも多かったのもっと多くの大人に見てほしい、子どもたちが自分たちで進行も行い、きちんと発表している点もとても立派であった等の感想が寄せられた。</p> <p>③ 能代っ子中学生ふるさと会議では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能代の偉人から学んだことから未来を考えた能代第一中学校の発表</li> <li>・ 自然を生かした町作りを提案した二ツ井中学校の発表</li> <li>・ 「宇宙の街 能代」をPRした能代南中学校の発表</li> </ul> <p>等各校で行ったふるさと学習から得たことや感じたことを発表した。その後「能代の未来を考える」をテーマに、パネルディスカッションを行った。能代が抱える問題について真剣に考え、これからも能代の魅力を積極的に発信したり、活性化に取り組んでいったりしたいというような感想も寄せられ</p>



<p>学識経験者の意見</p>	<p>① 各学校での取り組みを踏まえた、ふるさと学習交流会、能代っ子中学生ふるさと会議の取り組みは、非常に高く評価できるものであり、ぜひ今後とも継続していただきたい。それぞれの学校の特色がよく出ており、能代市全体での文化的交流・融合も期待できる。</p> <p>② 学校支援ボランティアも今後登録者、参加者を拡大するように努めていただきたい。個人単位とともに、行政、公共、民間の幅広い団体とも連携し、工夫を重ねていただきたい。</p> <p>① 人口減少、高齢化が予想以上のペースで進み、これまで各町内や各集落が行ってきた行事や活動の存続が危ぶまれている中、学校や児童生徒の担う役割は一段と大きくなってきている。各学校では、地域が元気になるために何ができるのかについて考え、積極的に地域を支援して欲しい。</p> <p>② 教育情報誌「教育のしろ」や「ふいご」の発行は、市内各校の特色ある教育活動や教員の実践に触れる機会を提供するとともに、貴重な研修の場となっている。</p> <p>③ 学校支援ボランティアの皆さんのご協力に感謝したい。今後とも、いろいろな機会を通して学校支援ボランティア事業についての周知を図り、充実感をもって支援していただけるように努めたい。</p>
-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策の項目	(2) 基礎学力の向上を図る学習指導
方針・目標	児童生徒に主体的な学習の場を保証し、学力の向上を図る。
目標値	秋田県の学習状況調査（小学4年から中学2年対象悉皆調査）で、各学年・各教科において市平均が県平均を上回る結果となるようにする。質問紙調査において、学習意欲に関する評価項目で肯定的な評価が小学生で70%以上、中学生で50%以上、児童生徒同士の学び合いに関する評価項目で肯定的な評価が小・中学校とも85%以上になるようにする。
事務事業の実績	<p>① 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、研究主任会での情報交換及び指導助言、報告書の提出（県調査後2月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の児童生徒の補充学習の実施の促進</li> <li>・学校や教師の課題を明確にした授業改善の促進</li> </ul> <p>② 学校訪問指導の実施 各校の課題を把握し、改善に向けた指導助言を以下の訪問を通してPDCAサイクルで実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県教育庁北教育事務所長、山本出張所長訪問への指導主事随行(6-7月)</li> <li>・市教委学校教育課指導主事による全学級訪問(7-10月)</li> <li>・市教育長訪問（学校教育課長、同参事、指導主事随行）(10-11月)</li> <li>・指導主事による要請訪問（講師への授業参観と指導助言も実施）</li> </ul> <p>③ 研修機会の提供と各校の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全小学校の理科担当者を対象に「理科学力向上研修会」（6月）を開催し、理科の学習の進め方（授業の展開、板書、ノート指導、実験の基本）について講話や演習を実施し、指導力の向上を図った。</li> <li>・外国語活動研修会（7月）を開催し、教育専門監による模擬授業、指導体制や指導方法の情報交換を行った。</li> <li>・講師等研修会を2回開催し（8月、1月）、教材教具の活用の工夫について講話や紹介、自分の授業における成果と課題について情報交換を実施し、指導力の向上を図った。</li> <li>・各校の校内研究をまとめた紀要『教育課程の展開と実践』の発行(3月)</li> </ul>
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況調査（25年12月実施）の結果は、小・中学校とも全教科で県平均を上回った。平成24年度の小学6年生の理科は0.8ポイント県平均を下回っていたが、平成25年度は2.0ポイント上回った。全体として各学年とも平成24年度の結果以上に良好と言える。</li> <li>・学習意欲は「勉強が好きだ」の割合は、小学4年84.5%（県比+4.7p）、5年85.6%（+13.5p）、6年71.6%（+1.5p）、中学校1年49.1%（-3.1p）、2年45.8%（+4.5p）であった。中学1年は、小学6年の時に県より6.4ポイント下回っていたが、マイナス3.1ポイントと改善されてきた。今後もわかる、できる授業を継続し、学習意欲を高めるための手立てを工夫していく必要がある。</li> <li>・学び合いでは「ふだんの授業では、自分の考えが発表する機会がよくあると思う」の割合は、小学4年85.9%（県比+7.8p）、5年92.5%（+14.4p）、6年85.3%（-1.1p）、中学1年85.5%（+1.8p）、2年82.1%（-2.1p）で</li> </ul>





③ 学校の小規模化が進み、小学校では単学級の学年が、中学校では教科部員一人の教科が増えており、これまでのような学校単位での研修に加え、地域やブロックでの研修の必要性が高まっている。各中学校区や能代山本教育研究会などでの研修の一層の充実を目指し、学校と市教育委員会とが知恵を出し合って、よりよい研修体制を見出したいものである。

施策の項目	(3) 心豊かでたくましい子どもをはぐくむ指導
方針・目標	いじめや不登校等の生徒指導上の問題について、未然防止や早期発見・適切な対応に努めるために学校と関係機関の連携や学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる体制をつくる。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの未然防止、早期発見、適切な対応ができる体制をつくる。</li> <li>・不登校の出現率を1,000人当たり6.0人以下にする。</li> <li>・全国学力・学習状況調査（質問紙調査）「学校で友達に会うのは楽しい」で、肯定的な回答をした児童生徒の割合を95%以上にする。</li> </ul>
事務事業の実績	<p>① 心の教室相談員の配置 子どもたちが学校で気軽に悩み等を話し、ストレスを和らげるために相談員を配置し、心のゆとりをもてる環境を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校12校中5校(児童数300人を超える学校)に4名配置</li> <li>・中学校7校全校に6名配置</li> <li>・1年間に心の教室を訪れた人数(延べ人数) 10,167名(昨年度 12,262名)</li> <li>・年間の相談件数 327件(昨年度 432件)</li> <li>・相談員がかかわった不登校児童生徒の総数11名、内改善傾向7名(昨年度 総数11名、内改善傾向8名)</li> <li>・いじめに関わる相談件数0件(昨年度3件、改善3件)</li> </ul> <p>② 適応指導教室「はまなす広場」の設置 不登校児童生徒に対して、個別指導を通して学習意欲・自立心・社会性を育て、学校復帰への手助けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通級者11人内復帰した児童生徒数4人(昨年度14人、内復帰9人)</li> <li>・登校に向けて風の子電話との連携を強化した。</li> </ul> <p>③ 「風の子電話」の設置 電話や来所による教育相談を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間相談件数 電話17件 来所50件(内不登校に関する相談38件、いじめに関する相談2件、その他〈進路等〉27件)</li> <li>・学校や教育研究所、他機関との連携</li> <li>・適応指導教室との連携強化</li> </ul> <p>④ 不登校保護者会の開催 不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第3木曜日19:00～21:00のべ48名参加3名の学校復帰に関わる。</li> </ul> <p>⑤ 児童生徒支援アドバイザーの活用 小学校に13回、中学校に10回訪問。また、電話・来室による相談は小学校が24回、中学校は44回。学校側は、生徒指導上の問題が生じたとき、すぐにアドバイザーが学校に訪問し、的確な助言をしてもらえることがありがたいという意見が教育研究所運営協議会で出されている。平成25年度は、進級時や部活動をきっかけとして、学校復帰に向けて支援した。</p> <p>⑥ 各小・中学校への指導 不登校対策事業のリーフレット等を定期、随時に学校を通して保護者に配付。ホームページにも掲載。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、支援を要する児童生徒（欠席日数の多少にかかわらず）の欠席日数、学校での状況と学校の対応、家庭での過ごし方等について報告を受け、取組について指導助言した。</li> <li>・市生徒指導主事会（年4回）での、情報交換と小・中学校の連携強化、未然防止に向けた取組の呼びかけ。</li> <li>・指導主事が全小・中学校へ出向き、「不登校・いじめ防止研修会」を市内全教職員に実施し、未然防止や早期発見、適切な対応を強化する取組を行った。</li> <li>・Q-U検査（「楽しい学校生活を送るためのアンケート」）をすべての小学校5・6年生と中学校1・2年生に実施し、不登校やいじめ被害の可能性の高い児童生徒の早期発見に努めた。</li> <li>・心の教室相談員、教育相談員、スクールカウンセラーを校内の生徒指導研修会等に活用し、情報交換や校内連携を充実させた。</li> <li>・市いじめ防止基本方針を策定するとともに、いじめ防止リーフレットを各家庭に配布した。また、全小中学校が学校いじめ防止基本方針を策定し、家庭・地域に周知した。</li> </ul>
<p>点 検 評 価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input checked="" type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめは、小学校4件、中学校6件が報告されいずれも解消。（平成24年度は小学校9件、中学校6件）各校がいじめを早期発見し、早期対応した結果といえる。</li> <li>・不登校の出現率は8.8人（児童生徒1,000人あたり）で、国の10.9人は下回っているが、県の7.7人（平成24年度）を大きく上回ってしまった。平成25年度における中学校1年生の不登校生徒数10名（24年度、5名）であり、小・中連携による中1ギャップの解消が問題点として挙げられる。</li> <li>・児童生徒による暴力行為は12件（24年度、7件）であり、大幅に増加した。ほとんどの児童生徒は、おおむね安定した学校生活が実現できているが、生徒間暴力や器物破損など、特定の生徒による問題行動が目立った。</li> <li>・全国学力・学習状況調査（質問紙調査）で、「学校で友達に会うのは楽しい」は小学校95.2%、中学校94.1%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えている。小学校は県平均と同等、中学校は上回っている。全体の満足度は高い状態であるが、Q-Uテスト等を活用しながら、友人との関係に問題を抱えている児童生徒にきめ細かい支援をしていくよう各校に指導していく必要がある。</li> </ul>
<p>課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>拡充    <input type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他（                    ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の自己有用感を高め、満足度の高い学校生活を送れるようにすることを基盤とする。いじめは絶対に許さない姿勢を全校の児童生徒及び教職員全員が共有する環境を作るため、昨年度策定した「学校いじめ防止基本方針」の行動計画が十分な成果を上げているかどうかのチェックをし、必要に応じて補ったり見直ししたりするよう、適宜各校に指導する。</li> <li>・児童生徒支援アドバイザーは、いじめや不登校、その他問題を抱える児童生徒にかかわる関係者間の連携を図り、当該児童生徒の早期問題解決が図られるよ</li> </ul>

	<p>う支援を行うとともに、各種学校訪問に随行し、日頃の児童生徒の様子を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、いじめ・不登校防止研修会を市内全教職員に実施し、未然防止や早期発見、適切な初期対応を強化する取組を行う。講師として、指導主事に加え、風の子電話相談員、児童生徒支援アドバイザーも参加し、的確な指導助言を行う。また、この研修会において、Q-U検査（「楽しい学校生活を送るためのアンケート」）の分析の仕方を指導する。今年度から、Q-U検査は小学校5年生～中学校2年生を対象に、年2回実施し、1回目の結果から学級力向上を目指すとともに、児童生徒との関わりを改善することで中一ギャップの軽減や不登校・いじめの未然防止、早期発見、適切な対応に生かす。</li> <li>・昨年度の本市の不登校の状態を分析すると、平成24年度中学校卒業生11名、中3以外の復帰数5名に対して、新規が15名となっている。つまり、本市の不登校出現率を減らすために、未然防止に最も力を入れて取り組んでいく。平成26、27年度「魅力ある学校づくり調査研究事業」を実施する東雲中ブロックの成果を機会あるごとに各校に周知していく。</li> </ul>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① いじめや不登校など、全体として問題は大きくなっていないのだが、できる限り問題を小さくする努力が様々に図られており、評価することができる。学校だけでできることは限られていることから、家庭、地域社会の協力を得ながら、取り組みを広げていただきたい。</p> <p>② 子ども達のゆとりを大切にし、違いを尊重し合う雰囲気、人権を大切にする雰囲気を学校全体に広げ、中でも授業の中での学び合い、支え合いが実現されるよう、引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>㊦ いじめや不登校等の問題に対応するために、心の教室相談員や児童生徒支援アドバイザーを配置したり、「はまなす広場」や「風の子電話」を設置したりするなど、きめ細かな手だてが講じられている。不登校の出現率や暴力行為の件数など、目標値に達していないものもあるが、当該児童生徒の実態に応じた根気強い対応が何よりと考える。今後ともこれらの施策や取組を継続してほしい。</p> <p>㊧ Q-U検査は、学級内での子どもたちの人間関係を把握するうえで有効であり、2回の検査結果を活用して、中1ギャップの軽減や不登校の未然防止等に役立ててほしい。</p>

## 2 学校教育

【学校教育課】

施策の項目	(4) 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修
方針・目標	・学校や教職員の課題に応じた研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させる。
目標値	・各研修会参加者の事後アンケートで「研修会の内容が実践に役立ったか」と「内容が分かりやすかったか」について、肯定的評価が4段階評価で3.5以上となるようにする。
事務事業の実績	<p>① 職務別研修</p> <p>ア 教務主任・研究主任の合同研修会（7、1月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミドルリーダーについての講義</li> <li>・情報交換</li> </ul> <p>イ 研究主任会（11月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊島区教員派遣報告、教育専門監の授業DVDの活用</li> </ul> <p>ウ 特別支援教育支援員研修会（7、10月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋大プロジェクトフェロー、山本出張所指導主事による講義</li> </ul> <p>エ 外国語活動研修会（7月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校5、6年生の担任を対象とした実践的研修</li> </ul> <p>オ 若手教員研修（1月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊島区への教員派遣</li> </ul> <p>② 教職経験者研修</p> <p>ア 初任者研修（5、6月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目：サービス及びいじめ・不登校防止についての講義、学習指導・生徒指導についての成果と課題、</li> <li>・2回目：能代市の主な施設の視察</li> </ul> <p>イ 講師等研修（8、1月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目：指導主事による講義、教材・教具の活用の工夫</li> <li>・2回目：教育専門監の模擬授業、授業における成果と課題の検討</li> <li>・学校訪問指導の際の指導主事による助言</li> </ul> <p>③ テーマ別研修</p> <p>ア 読書活動推進研修会（5月と1月）</p> <p>イ モデルロケット研修会（5月）</p> <p>ウ 不登校、いじめ防止訪問研修会（5～7月）</p> <p>エ 情報モラルネットトラブル研修会（8月）</p> <p>オ 理科学力向上研修会（6月）</p>
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋大と連携した特別支援教育研修会、新規の研修会としては情報モラルネットトラブル研修会等を企画・運営し、学校現場へ学校や市の課題に応じた研修会を提供することができた。</li> <li>・教育専門監の模擬授業の提示により、指導方法の改善に向け、具体を示すことができた。</li> </ul>



<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 様々な取り組みが行われ、効果を上げている。特に教育専門監による授業提示等は効果が大いと思われることから、今後とも積極的に進めていただきたい。校外での研修が、校内研修と結びつけられ、研修の成果が学校全体のものとなるように、各学校での取り組みを期待したい。校内研修が活発に行われているかどうか、視野に入れていただきたい。</p> <p>② 様々な研修会や講習会を実施し、受講者からの評価も目標値の3.5以上をクリアしている。今後とも諸課題の改善に立ち向かうことのできる教員を育てるべく、研修の場を提供してほしい。</p> <p>③ 教育専門監による模擬授業を、市内のすべての教員に参観してもらってはどうか。DVDを活用するという方法もあるが、生の授業を見てもらうことの効果は大いと思う。特に中学校の教員には是非見てもらいたい。</p> <p>④ 「英語授業改善プログラム事業」や「魅力ある学校づくり調査研究事業」の推進においては、各研究指定校が事業の目的の達成に向けて実効性のある取組を展開することができるよう、県教委と連携を図りながら、支援して欲しい。</p>
----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3 社会教育

【生涯学習・スポーツ振興課】

施策の項目	<b>(1) 生涯学習推進・社会教育振興</b>																																																					
方針・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習社会の実現に向け、その核となる社会教育を充実させる。</li> <li>家庭及び地域の教育力向上が重要課題であり、豊かな心、生きる力を育めるよう学校・家庭・地域が連携協力し各種施策を押し進める。</li> </ul>																																																					
目標値	<p>① 第2次能代市社会教育振興中期計画(25年度～29年度)に基づく実施事業数：70事業以上</p> <p>② 生涯学習指導者、ボランティア登録者数：24年度末の40組から29年度には50組に増やす。</p>																																																					
事務事業の実績	<p>○第2次能代市社会教育振興中期計画(25年度～29年度)に基づく実施事業</p> <p>・25年度実施事業数 89事業</p> <p>○学校・家庭・地域の連携協力</p> <p>・放課後子ども教室推進事業(市内全小学校12校で実施)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">25年度</th> <th colspan="3">24年度</th> </tr> <tr> <th>学校数</th> <th>日数</th> <th>参加者数</th> <th>学校数</th> <th>日数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平日図書室等開放</td> <td>7</td> <td>1,362</td> <td>20,410</td> <td>7</td> <td>1,330</td> <td>21,107</td> </tr> <tr> <td>土曜日体育館開放</td> <td>5</td> <td>118</td> <td>1,714</td> <td>5</td> <td>108</td> <td>1,624</td> </tr> <tr> <td>週末体験活動</td> <td>12</td> <td>45</td> <td>935</td> <td>12</td> <td>52</td> <td>976</td> </tr> <tr> <td>夏休みプール開放</td> <td>12</td> <td>205</td> <td>8,025</td> <td>12</td> <td>191</td> <td>8,453</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>1,730</td> <td>31,084</td> <td></td> <td>1,681</td> <td>32,160</td> </tr> </tbody> </table> <p>○のしろDEマナブゥ事業(24年度から本格実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業周知のため、全小学校児童へリーフレットを配布した。</li> <li>ふるさとを学ぶ「マナブゥ講座」を開催した。28講座で延べ483人の参加。</li> <li>子どもたちが応募した「のしろのオリジナルキャラクター」をもとにマナブゥカードを作成し、マナブゥ講座参加者へ配布した。 キャラクター応募数：57人 66種類 カード作成数：2,000枚 80種類</li> <li>学校教育課との共催により「ふるさと学習交流会」を公民館祭に合わせて、文化会館で開催し、より多くの市民に子どもたちの学習成果を見てもらうことができた。(郷土芸能発表 1団体、ふるさと学習発表 4校) 24年度参加者数：316人 / 25年度参加者数：604人</li> <li>ふるさと学習交流会の開催については、昨年度同様に広報(生涯学習のしろ)に掲載、近隣の介護施設や老人クラブ事務局等へのチラシ配布、地元新聞紙への掲載、発表する子どもたちがご招待カード(作成は生涯学習係)を配るなどPRをおこなった。平成25年度は特に発表児童数が多かったため、「ご招待カード」による周知効果が高かった。</li> <li>大ホールホワイエに全12校のふるさと学習の展示のほか、子どもたちが応募した「のしろのオリジナルキャラクター」を展示し、人気投票をおこなった。</li> <li>子どもたちが自由にマナブゥカードを介しながら、「学び」とおして地域の方々とふれ合える「マナブゥ市」を開催した。</li> </ul>							25年度			24年度			学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数	平日図書室等開放	7	1,362	20,410	7	1,330	21,107	土曜日体育館開放	5	118	1,714	5	108	1,624	週末体験活動	12	45	935	12	52	976	夏休みプール開放	12	205	8,025	12	191	8,453	合計		1,730	31,084		1,681	32,160
	25年度			24年度																																																		
	学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数																																																
平日図書室等開放	7	1,362	20,410	7	1,330	21,107																																																
土曜日体育館開放	5	118	1,714	5	108	1,624																																																
週末体験活動	12	45	935	12	52	976																																																
夏休みプール開放	12	205	8,025	12	191	8,453																																																
合計		1,730	31,084		1,681	32,160																																																



5/26 ミニマナブゥ市 (のしろ子どもまつり)

10/12 マナブゥ市 (ふるさと学習交流会 同日)

協力団体：12 参加者数：延べ709人

- ・地域の人材育成のため、国立教育政策研究所講師派遣事業を活用し、放課後子ども教室コーディネーター研修を兼ねて、体験活動コーディネーター養成研修を開催した。

#### ○家庭教育支援

- ・子育て各期における学習機会の拡充、異世代間の交流機会の拡充等のための講座を実施した。
- ・生涯各期の家庭教育への関わりから、次代の親及び祖父母対象の講座を新たに開設した。

対象	講座名	25年度		24年度	
		講座数	参加者数	講座数	参加者数
保護者	家庭教育関係講座	38	1,421	19	566
次代の親	家庭教育関係講座	3	348		
	社会参加活動推進事業 「みんなでAction!」 (命の大切さ事業含む)	10	中高生 117 受入団体 299	12	中高生 120 受入団体 306
祖父母	じじばばの孫かて講座	1	延べ23		
合計		52	2,208	31	992

- ・「家庭教育に関する本」の貸出し 延べ71人、155冊
- ・家庭教育支援事業推進会議を1回開催(3月)
- ・家庭教育通信「Only one」を3回発行
- ・「ちょこっと家庭教育通信」を発行・配布 4件5種
- ・家庭教育支援事業報告書を作成し関係者に配布

#### ○青少年健全育成

- ・「平成25年度能代市青少年健全育成活動方針」を、市のホームページに掲載するとともに各自治会長や町内会長へ配布したほか、能代市青少年問題協議会の委員の所属する団体の総会や会議で会員に呼びかけ周知に努めた。
- ・家庭教育支援事業「みんなでAction!」を青少年育成能代市民会議とタイアップして実施。(実績は家庭教育支援に記載)
- ・新成人で組織する実行委員会方式で成人式をおこなっている。

#### ○生涯学習指導者、ボランティアの養成

- ・生涯学習ボランティア登録者数は53組であった。
- ・「みんなでAction!」に多くの中学生・高校生ボランティアが参加することにより、社会活動への参加経験を積んでもらうことができた。
- ・二ツ井小学校の正課クラブ活動で「郷土芸能」、第四小学校の正課クラブ活動で「将棋」「絵手紙」「手話」「民謡」、二ツ井中学校の文化祭ダンスコンクールなどに地域の方々がボランティアで指導をおこなった。
- ・生涯学習奨励員がマナブゥ市で2ブースを企画運営し協力した。また、放課

	<p>後子ども教室推進事業の講師、活動リーダーとして活躍した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習のしろを広報見開き2ページで年2回掲載したほか、生涯学習ボランティア通信を配布し、生涯学習の周知に努めた。</li> <li>・生涯学習ボランティアの活用を図るため、登録者名簿を整備し公表した。</li> <li>・生涯学習ボランティアでは対応できない学習ニーズについて、学習拠点施設や市ホームページにおいて広く市民へ呼びかけ、人材を発掘する仕組みとして「人*人 掲示板」の運用を開始した。</li> </ul>
<p>点 検 ・ 評 価</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る      <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る  <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る </p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①については、平成25年3月に第二次社会教育振興中期計画が策定されたことにより、平成25年度からこの計画に基づいて事業を実施することとし、その目標数を「70事業以上」とした。25年度実績は「89事業」であり、目標を達成している。</li> <li>・②については、最終目標値「50組」に対し、25年度実績が「53組」であり、最終目標を達成することができた。</li> </ul>
<p>課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性</p>	<p> <input type="checkbox"/> 拡充      <input checked="" type="checkbox"/> 継続      <input type="checkbox"/> 廃止検討      <input type="checkbox"/> その他 (                      ) </p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、「放課後子ども教室週末体験活動」や「のしろDEマナブゥ事業」での体験学習の中で、地域人材の活用を図っていく。</li> <li>○「のしろDEマナブゥ事業」については、24年度に本格実施したが、これまでの実施状況・内容等を検証し、当事業の一層の充実に努める。</li> <li>○学校に対しても引き続き、ふるさと学習やクラブ活動に生涯学習ボランティア・地域人材の活用を働きかけていく。</li> <li>○25年度に設置した「人*人 掲示板」等により、地域の人材を発掘し、生涯学習ボランティアの活用等につなげていく。</li> <li>○広報のしろ掲載の「生涯学習のしろ」等により情報提供に努める。</li> <li>○公民館祭、自主学習グループの作品発表など学習成果の発表の場を引き続き提供し、主催者と連携しPRに努める。</li> </ul>
<p>学 識 経 験 者 等 の 意 見</p>	<p>① 学校と連携して事業の展開が図られ、積極的に展開されており、高く評価できる。特に、ふるさと学習交流会が、公民館祭と合わせて開催され、異年齢の幅広い交流の場となったことは特筆すべきものである。今後、中学校も含めて、事業の拡大を期待したい。</p> <p>② 第2次能代市社会教育振興中期計画（平成25～29年度）に基づく実施事業放が89事業、生涯学習指導者やボランティアの登録者数が53組と、いずれも当初の目標値を既に上回っており、日頃の取組の成果と思う。</p>

- |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>② 「のしろDEマナブウ事業」は本格実施から2年目をむかえ、「マナブウ講座」への参加者の増加や、「ふるさと学習交流会」で全小学校のふるさと学習の成果を展示するなど、事業の充実ぶりが見てとれる。</p> <p>③ 家庭教育支援では、子育て各期における学習機会の拡充や、異世代間の交流機会拡充等をねらって講座を実施し、前年度よりも多くの市民が参加している。是非、今後も継続してほしい。</p> <p>④ 「放課後子ども教室コーディネーター養成研修会」を開催したことの意義は大きい。教室に通ってくる小学生に対し、どのように関わったらよいかで悩んでいる指導員がいた場合、コーディネーターが研修会で学んだことをもとに、対応の仕方についてアドバイスできる。</p> |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

施策の項目	(2) 文化芸術活動の振興と文化財の保存・継承
方針・目標	市民文化振興事業と文化財保護事業の推進
目標値	<p>○市民文化振興事業の推進 文化月間入場者数 展示部門：5,000人 舞台部門：800人</p> <p>○文化財保護事業の推進 指定・登録文化財数：98件（維持） 歴史探訪会の満足度：4以上（5段階評価で） 関係諸団体の活動支援 歴史ガイドの会・能代市民俗芸能連合会</p>
事務事業の実績	<p>○市民文化振興事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化月間の設定 ※（ ）内は前年度 展示部門：11 団体、入場者数 3,903 人（12 団体、3,354 人） 舞台部門：16 団体、入場者数 801 人（16 団体、863 人）</li> <li>・芸術文化団体への支援 能代ミュージカル制作・公演費補助金 能代ミュージカルキッズ公演・練習会場使用料負担</li> <li>・能代市栄光賞（文化部門）の授与 受賞者 75 名〔金 2 銀 8 銅 66〕（63 名〔金 3 銀 2 銅 58〕）</li> </ul> <p>○文化財保護事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定・登録文化財数：98 件（前年度と同数）</li> <li>・歴史探訪会の実施 「能代市の昭和遺産を巡る（共催）」 開催日：H25. 9. 28 参加者：18人〔評価：4. 93〕 「歴史的建造物を巡る（横手市ほか：共催）」 開催日：H25. 10. 26 参加者：25人〔評価：4. 65 〕 計43人（21人）</li> <li>・関係諸団体の活動支援 歴史ガイドの会 養成講座の開催等 会員数 45 人（44 人） 能代市民俗芸能連合会 合同公演・後継者育成事業支援〔補助金〕</li> <li>・史跡の除草の実施 檜山安東氏城館跡、杉沢台遺跡、柏子所貝塚、鴨巣一里塚</li> <li>・遺跡分布調査、発掘調査 本調査 1 件、試掘 9 件、立会 2 件（試掘 7 件、立会 4 件）</li> <li>・民俗芸能の継承 子ども民俗芸能発表会 開催日：H25. 11. 3 2団体67人(4団体59人)</li> </ul>

<p>点 検 評 価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>○市民文化振興事業の推進  文化月間の入場者数については、展示部門で前年度より増加したものの目標値には達せず、舞台部門では前年を下回ったもののほぼ目標値どおりとなった。</p> <p>○文化財保護事業の推進  指定・登録文化財数は目標値を達成している。  歴史探訪会については、参加者の満足度評価では4以上で目標を達成している。秋田県文化財保護協会能代支部などの団体と共催し、市民のニーズにあったテーマを設定できた。</p> <p>以上により、ほぼ目標どおり事業を実施した。</p>
<p>課 題 及 び  今 後 の 取 組 の  方 向 性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他 (                      )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>市民文化振興に関する事業を継続する。芸術文化団体が減少する中で、目標値を再検討する必要がある。文化財保護については、文化財の適切な保存に努めるとともに、活用については民間団体等ともに取り組み、市民の文化財に対する関心と理解を深めていく。</p>
<p>学 識 経 験 者 等  の 意 見</p>	<p>① 市民文化振興についても、文化財保護についても十分な取り組みがなされている。人口減少もあり、地域の維持・再生、振興と結びつけながら工夫を重ね、事業の展開を今後とも図っていただきたい。</p> <p>② 市民文化振興事業の推進については、「能代市栄光賞（文化部門）」の受賞者数が前年度よりも10名以上増えており、喜ばしいかぎりである。</p> <p>③ 能代ミュージカルや能代ミュージカルキッズの公演は、市民の楽しみの一つになっており、今後とも、制作・公演にかかる支援をお願いしたい。</p> <p>④ 文化財保護事業の推進については、2回の「歴史探訪会」での参加者の評価が、いずれも目標値の4以上を大きく上回っており、参加した皆さんの満足度の大きさがうかがえる。</p>

<p>施策の項目</p>	<p><b>(3) 生活や地域における課題解決のための学習機会の提供</b></p>																																																																																																					
<p>方針・目標</p>	<p>(1)学習を通して、人と人をつなぎ、関わりをひろげていきます                  ①学習の成果を地域に活かす取り組みを推進します                  ②地域の住民が主体となって運営する学習体制のあり方を検討します                  ③青年層へ多様な学習機会を提供し、仲間づくりを支援します                  ④高齢者が「幸齢者」となるよう、学習を通して生きがいつくりの場を提供します                  ⑤社会教育施設等の適切な運営により、より良い学習環境の充実に努めます                  (2)学校・家庭・地域が一丸となり共に次世代を育む社会をつくります                  ①学校・PTA・地域が連携する行事の実施を支援します                  ②学校や関係団体、地域と連携し、参加しやすい体験活動を実施します                  ③保護者へ学習機会を提供し、家庭教育を支援します                  ④地域活動に必要な学習機会を提供します</p>																																																																																																					
<p>目標値</p>	<p>講座数及び参加者数の過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回ること。</p>																																																																																																					
<p>事務事業の実績</p>	<p>1. 開設講座・事業数</p> <table border="1" data-bbox="459 913 1241 1283"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>講座数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>36講座</td> <td>205回</td> <td>10,435人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>39講座</td> <td>219回</td> <td>11,110人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>39講座</td> <td>240回</td> <td>12,358人</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>39講座</td> <td>238回</td> <td>13,095人</td> </tr> <tr> <td>H22～24平均</td> <td>39講座</td> <td>232回</td> <td>12,187人</td> </tr> <tr> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td>△3講座</td> <td>△27回</td> <td>△1,752人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 平成25年度開催講座内訳（地区公民館含む・数値は延べ数）</p> <table border="1" data-bbox="430 1361 1380 1977"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>おもな事業内容</th> <th>対象</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">家庭教育 (幼児教育)</td> <td>親子体験活動</td> <td>年長児と保護者</td> <td>7</td> <td>92組</td> </tr> <tr> <td>食育体験学習</td> <td>年長児～小学生3</td> <td>6</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>保護者の学習</td> <td>保護者</td> <td>8</td> <td>296人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">少年教育</td> <td>体験活動・異年齢交流</td> <td>小学生3・4</td> <td>4</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>体験活動(地区)</td> <td>地区小学生</td> <td>9</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>青年教育</td> <td>ボランティア育成</td> <td>高校生</td> <td>8</td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">成人教育</td> <td>テーマに沿った課題学習</td> <td>一般成人</td> <td>8</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td>集合学習(市民学校)</td> <td>一般成人</td> <td>67</td> <td>741人</td> </tr> <tr> <td>働く婦人の家主催講座</td> <td>一般成人</td> <td>6</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>勤労青少年ホーム主催講座</td> <td>一般成人</td> <td>3</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>高齢者教育</td> <td>集合学習(寿大学)</td> <td>高齢者</td> <td>59</td> <td>3,044人</td> </tr> <tr> <td>文化活動</td> <td>公民館祭・文化祭</td> <td>—</td> <td>18</td> <td>5,477人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コミュニティ活動</td> <td>地域づくり講演会</td> <td>一般成人</td> <td>1</td> <td>130人</td> </tr> <tr> <td>地域交流(地区)</td> <td>一般成人</td> <td>1</td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合 計</td> <td>205</td> <td>10,435</td> </tr> </tbody> </table>	年度	講座数	回数	参加者数	H25	36講座	205回	10,435人	H24	39講座	219回	11,110人	H23	39講座	240回	12,358人	H22	39講座	238回	13,095人	H22～24平均	39講座	232回	12,187人	3ヵ年平均との比較	△3講座	△27回	△1,752人	分野	おもな事業内容	対象	回数	参加者数	家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年長児と保護者	7	92組	食育体験学習	年長児～小学生3	6	69人	保護者の学習	保護者	8	296人	少年教育	体験活動・異年齢交流	小学生3・4	4	90人	体験活動(地区)	地区小学生	9	99人	青年教育	ボランティア育成	高校生	8	126人	成人教育	テーマに沿った課題学習	一般成人	8	78人	集合学習(市民学校)	一般成人	67	741人	働く婦人の家主催講座	一般成人	6	73人	勤労青少年ホーム主催講座	一般成人	3	29人	高齢者教育	集合学習(寿大学)	高齢者	59	3,044人	文化活動	公民館祭・文化祭	—	18	5,477人	コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1	130人	地域交流(地区)	一般成人	1	91人	合 計			205	10,435
年度	講座数	回数	参加者数																																																																																																			
H25	36講座	205回	10,435人																																																																																																			
H24	39講座	219回	11,110人																																																																																																			
H23	39講座	240回	12,358人																																																																																																			
H22	39講座	238回	13,095人																																																																																																			
H22～24平均	39講座	232回	12,187人																																																																																																			
3ヵ年平均との比較	△3講座	△27回	△1,752人																																																																																																			
分野	おもな事業内容	対象	回数	参加者数																																																																																																		
家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年長児と保護者	7	92組																																																																																																		
	食育体験学習	年長児～小学生3	6	69人																																																																																																		
	保護者の学習	保護者	8	296人																																																																																																		
少年教育	体験活動・異年齢交流	小学生3・4	4	90人																																																																																																		
	体験活動(地区)	地区小学生	9	99人																																																																																																		
青年教育	ボランティア育成	高校生	8	126人																																																																																																		
成人教育	テーマに沿った課題学習	一般成人	8	78人																																																																																																		
	集合学習(市民学校)	一般成人	67	741人																																																																																																		
	働く婦人の家主催講座	一般成人	6	73人																																																																																																		
	勤労青少年ホーム主催講座	一般成人	3	29人																																																																																																		
高齢者教育	集合学習(寿大学)	高齢者	59	3,044人																																																																																																		
文化活動	公民館祭・文化祭	—	18	5,477人																																																																																																		
コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1	130人																																																																																																		
	地域交流(地区)	一般成人	1	91人																																																																																																		
合 計			205	10,435																																																																																																		

### 3. 自主学習グループ支援

- ・公民館使用料の減額、施設の優先予約
- ・公民館祭への参加（作品展示・芸能発表）
- ・新規会員募集グループ紹介活動
- ・その他学習相談への対応

	グループ数	人数	男	女
H25	247団体	3,736人	1,194人	2,542人
H24	250団体	3,849人	1,206人	2,643人
H23	263団体	4,667人	1,289人	3,378人
H22	269団体	4,140人	1,197人	2,943人
H22～24平均	260団体	4,218人	1,230人	2,988人
3カ年平均との比較	△13団体	△482人	△36人	△446人

H26. 3. 31

H25. 3. 31

H24. 3. 31

H23. 3. 31

### 4. 学習記録

- ・受講生による日誌制導入（中央公民館主催講座のみ）
- ・市民学校文集『よねしろ』第14・15号発行

### 5. 勤労青少年ホーム利用者連絡協議会

	利用グループ数	登録人数
H25	12団体	71人
H24	13団体	89人
H23	16団体	82人
H22	15団体	80人
H22～24平均	14団体	83人
3カ年平均との比較	△2団体	△12人

### 6. 働く婦人の家利用グループ

	利用グループ数	登録人数
H25	64団体	633人
H24	61団体	717人
H23	64団体	752人
H22	67団体	717人
H22～24平均	64団体	728人
3カ年平均との比較	0団体	△95人

[参考]

公民館年間利用者数（中央、旧能代地区6館、二ツ井、分館8館）

H23～118,531人、H24～124,223人、H25～118,291人

（3カ年平均：120,348人／年）





② 学んだ人が、学ぼうとする人のお手伝いをする「知の循環型社会」が生涯学習の理念であると考えている。講座に参加した人が、学習したことを地域づくりに生かせるようなシステムを構築してほしい。

施策の項目	<b>(4) 芸術文化の振興と福祉の増進を図る</b>																																																															
方針・目標	①主催事業の企画実施 ②芸術文化活動の育成と参加の奨励 ③会館の効率的な利用																																																															
目標値	事業数及び入場者数の過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回ること。																																																															
事務事業の実績	平成25年度実績 ①主催事業																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14(日)</td> <td>六代目桂文枝襲名披露公演</td> <td>桂文枝</td> <td>429</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/2(日)</td> <td>宝くじコンサート</td> <td>東京都交響楽団特別演奏会</td> <td>603</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>7/27(日)</td> <td>秋川雅史コンサート</td> <td>秋川雅史</td> <td>759</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>9/21(土)</td> <td>第9回みんなで歌うコンサート</td> <td></td> <td>374</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9/29(土)</td> <td>N響メンバーによる弦楽四重奏</td> <td>弦楽四重奏</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/13(水)</td> <td>MISIAコンサート</td> <td>MISIA</td> <td>1,171</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>12/15(日)</td> <td>第9回クリスマスこどもコンサート</td> <td></td> <td>340</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>3/2(日)</td> <td>第14回のしろクラシックコンサート</td> <td>クラシック</td> <td>487</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"><b>25年度合計</b></td> <td><b>8回開催</b></td> <td><b>4,663</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"><b>H22～24平均</b></td> <td><b>6回開催</b></td> <td><b>4,541</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"><b>3ヵ年平均との比較</b></td> <td></td> <td><b>122</b></td> </tr> </tbody> </table>					開催日	事業名	内容	入場者数	1	4/14(日)	六代目桂文枝襲名披露公演	桂文枝	429	2	6/2(日)	宝くじコンサート	東京都交響楽団特別演奏会	603	3	7/27(日)	秋川雅史コンサート	秋川雅史	759	4	9/21(土)	第9回みんなで歌うコンサート		374	5	9/29(土)	N響メンバーによる弦楽四重奏	弦楽四重奏	500	6	11/13(水)	MISIAコンサート	MISIA	1,171	7	12/15(日)	第9回クリスマスこどもコンサート		340	8	3/2(日)	第14回のしろクラシックコンサート	クラシック	487		<b>25年度合計</b>		<b>8回開催</b>	<b>4,663</b>		<b>H22～24平均</b>		<b>6回開催</b>	<b>4,541</b>		<b>3ヵ年平均との比較</b>			<b>122</b>
	開催日	事業名	内容	入場者数																																																												
1	4/14(日)	六代目桂文枝襲名披露公演	桂文枝	429																																																												
2	6/2(日)	宝くじコンサート	東京都交響楽団特別演奏会	603																																																												
3	7/27(日)	秋川雅史コンサート	秋川雅史	759																																																												
4	9/21(土)	第9回みんなで歌うコンサート		374																																																												
5	9/29(土)	N響メンバーによる弦楽四重奏	弦楽四重奏	500																																																												
6	11/13(水)	MISIAコンサート	MISIA	1,171																																																												
7	12/15(日)	第9回クリスマスこどもコンサート		340																																																												
8	3/2(日)	第14回のしろクラシックコンサート	クラシック	487																																																												
	<b>25年度合計</b>		<b>8回開催</b>	<b>4,663</b>																																																												
	<b>H22～24平均</b>		<b>6回開催</b>	<b>4,541</b>																																																												
	<b>3ヵ年平均との比較</b>			<b>122</b>																																																												
	②会場提供型共催事業（教育委員会共催）																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>8/12(木)</td> <td>「モーツァルトレクイエム」ホペアリア</td> <td>市民オペラ</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2/23(日)</td> <td>能代ミュージカル「能代宇宙少年団物語」</td> <td>第33回市民ミュージカル</td> <td>850</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"><b>25年度合計</b></td> <td><b>2回開催</b></td> <td><b>1,800</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"><b>H22～24平均</b></td> <td><b>3回開催</b></td> <td><b>2,430</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"><b>3ヵ年平均との比較</b></td> <td></td> <td><b>△ 630</b></td> </tr> </tbody> </table>					開催日	事業名	内容	入場者数	1	8/12(木)	「モーツァルトレクイエム」ホペアリア	市民オペラ	950	2	2/23(日)	能代ミュージカル「能代宇宙少年団物語」	第33回市民ミュージカル	850		<b>25年度合計</b>		<b>2回開催</b>	<b>1,800</b>		<b>H22～24平均</b>		<b>3回開催</b>	<b>2,430</b>		<b>3ヵ年平均との比較</b>			<b>△ 630</b>																														
	開催日	事業名	内容	入場者数																																																												
1	8/12(木)	「モーツァルトレクイエム」ホペアリア	市民オペラ	950																																																												
2	2/23(日)	能代ミュージカル「能代宇宙少年団物語」	第33回市民ミュージカル	850																																																												
	<b>25年度合計</b>		<b>2回開催</b>	<b>1,800</b>																																																												
	<b>H22～24平均</b>		<b>3回開催</b>	<b>2,430</b>																																																												
	<b>3ヵ年平均との比較</b>			<b>△ 630</b>																																																												
	③ロビーコンサート（市民が参加発表し、無料で会場を提供）																																																															
	8回開催 入場者数：860人																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>入場者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/28(日)</td> <td>第65回 ロビーコンサート</td> <td>Voice of Company「M」</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/12(日)</td> <td>第66回 //</td> <td>母の日に贈るコンサート</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/16(日)</td> <td>第67回 //</td> <td>のしろコカリナ会</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>9/14(土)</td> <td>第68回 //</td> <td>N響メンバー公演に向けたレクチャーコンサート</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>12/8(日)</td> <td>第69回 //</td> <td>中西&amp;斉藤ジョイントコンサート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12/23(月)</td> <td>第70回 //</td> <td>渡辺真弓と仲間たち</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>3/15(土)</td> <td>第71回 //</td> <td>能代一中吹奏楽部</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>3/21(金)</td> <td>第72回 //</td> <td>僕たちからのお・も・て・な・し</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"><b>25年度合計</b></td> <td><b>8回開催</b></td> <td><b>860</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"><b>H22～24平均</b></td> <td><b>8回開催</b></td> <td><b>666</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"><b>3ヵ年平均との比較</b></td> <td></td> <td><b>194</b></td> </tr> </tbody> </table>					開催日	事業名	内容	入場者数(人)	1	4/28(日)	第65回 ロビーコンサート	Voice of Company「M」	110	2	5/12(日)	第66回 //	母の日に贈るコンサート	90	3	6/16(日)	第67回 //	のしろコカリナ会	100	4	9/14(土)	第68回 //	N響メンバー公演に向けたレクチャーコンサート	110	5	12/8(日)	第69回 //	中西&斉藤ジョイントコンサート	100	6	12/23(月)	第70回 //	渡辺真弓と仲間たち	120	7	3/15(土)	第71回 //	能代一中吹奏楽部	110	8	3/21(金)	第72回 //	僕たちからのお・も・て・な・し	120		<b>25年度合計</b>		<b>8回開催</b>	<b>860</b>		<b>H22～24平均</b>		<b>8回開催</b>	<b>666</b>		<b>3ヵ年平均との比較</b>			<b>194</b>
	開催日	事業名	内容	入場者数(人)																																																												
1	4/28(日)	第65回 ロビーコンサート	Voice of Company「M」	110																																																												
2	5/12(日)	第66回 //	母の日に贈るコンサート	90																																																												
3	6/16(日)	第67回 //	のしろコカリナ会	100																																																												
4	9/14(土)	第68回 //	N響メンバー公演に向けたレクチャーコンサート	110																																																												
5	12/8(日)	第69回 //	中西&斉藤ジョイントコンサート	100																																																												
6	12/23(月)	第70回 //	渡辺真弓と仲間たち	120																																																												
7	3/15(土)	第71回 //	能代一中吹奏楽部	110																																																												
8	3/21(金)	第72回 //	僕たちからのお・も・て・な・し	120																																																												
	<b>25年度合計</b>		<b>8回開催</b>	<b>860</b>																																																												
	<b>H22～24平均</b>		<b>8回開催</b>	<b>666</b>																																																												
	<b>3ヵ年平均との比較</b>			<b>194</b>																																																												
	[参考] 文化会館年間利用者数 H23～101,476人、H24～101,425人、H25～96,529人 （3ヵ年平均：99,810人／年）																																																															

	<p>○市民芸術文化祭（能代市芸術文化協会主催事業）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>展示部門</th> <th>舞台部門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>11 団体 入場者数 3,903 人</td> <td>16 団体 入場者数 801 人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>12 団体 入場者数 3,354 人</td> <td>16 団体 入場者数 863 人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>12 団体 入場者数 4,598 人</td> <td>19 団体 入場者数 841 人</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>13 団体 入場者数 7,765 人</td> <td>20 団体 入場者数 872 人</td> </tr> <tr> <td>H22～24 平均</td> <td>12 団体 入場者数 5,239 人</td> <td>18 団体 入場者数 858 人</td> </tr> <tr> <td>3ヵ年平均 との比較</td> <td>△1 団体 入場者数△1,336 人</td> <td>△2 団体 入場者数 △57 人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	展示部門	舞台部門	H25	11 団体 入場者数 3,903 人	16 団体 入場者数 801 人	H24	12 団体 入場者数 3,354 人	16 団体 入場者数 863 人	H23	12 団体 入場者数 4,598 人	19 団体 入場者数 841 人	H22	13 団体 入場者数 7,765 人	20 団体 入場者数 872 人	H22～24 平均	12 団体 入場者数 5,239 人	18 団体 入場者数 858 人	3ヵ年平均 との比較	△1 団体 入場者数△1,336 人	△2 団体 入場者数 △57 人				
区分	展示部門	舞台部門																								
H25	11 団体 入場者数 3,903 人	16 団体 入場者数 801 人																								
H24	12 団体 入場者数 3,354 人	16 団体 入場者数 863 人																								
H23	12 団体 入場者数 4,598 人	19 団体 入場者数 841 人																								
H22	13 団体 入場者数 7,765 人	20 団体 入場者数 872 人																								
H22～24 平均	12 団体 入場者数 5,239 人	18 団体 入場者数 858 人																								
3ヵ年平均 との比較	△1 団体 入場者数△1,336 人	△2 団体 入場者数 △57 人																								
点 検 評 価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞型主催事業は催物のジャンルに偏りが無いよう計画した。総入場者数は3ヵ年平均に対して増加し、主催事業の際に行っているアンケートでは、満足度の高い回答が多く寄せられている。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>大変満足</th> <th>満 足</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桂 文枝</td> <td>2 0</td> <td>1 0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>東京都交響楽団</td> <td>1 5 3</td> <td>9 0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>秋川雅史</td> <td>6 1</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>N響弦楽四重奏</td> <td>6 8</td> <td>2 3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>会館を気軽に活用したロビーコンサートは、3ヵ年平均との比較では回数は同じであるが、入場者は増加し、今後の中・大ホールの利用に繋がる、芸術文化活動の育成と参加の促進ができた。</li> </ul>	事業名	大変満足	満 足	やや不満	不満	桂 文枝	2 0	1 0	0	0	東京都交響楽団	1 5 3	9 0	0	0	秋川雅史	6 1	9	0	0	N響弦楽四重奏	6 8	2 3	0	0
事業名	大変満足	満 足	やや不満	不満																						
桂 文枝	2 0	1 0	0	0																						
東京都交響楽団	1 5 3	9 0	0	0																						
秋川雅史	6 1	9	0	0																						
N響弦楽四重奏	6 8	2 3	0	0																						
課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他（      ）</p> <p>[具体的な取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者である能代市芸術文化協会のノウハウを活用した事業の展開を図る。</li> <li>26年度臨時駐車場路盤整備工事等により、施設利用者の利便性を向上させたい。</li> <li>指定管理者と連携し、以下の事項に取り組む。</li> <li>主催事業費の増加は厳しく、現状維持が予想されることから、各種助成制度を活用した事業の企画を推進しながら、ホームページなどあらゆる機会を通して利用促進を図る。</li> <li>主催事業時に行っているアンケート調査等を活用し、今後の主催事業を検討する。</li> </ul>																									
学 識 経 験 者 の 意 見	<p>① 人口減少、高齢化が進む中で、成果が上がっており、評価できる。財政面でも厳しい状況であるが、今後とも工夫を重ねていただきたい。</p> <p>② 主催事業については、事業数、入場者数とも過去3年間の平均値を上回っている。市民の要望をもとにジャンルのバランスを考慮した結果であると思う。</p>																									

㊦ ロビーコンサートでの入場者数は、過去3年間の平均値を上回っており、利用者にとって利用しやすい環境になっていることがうかがえる。今後も市民の発表の場として、ロビーの提供をお願いしたい。

施策の項目	(5) 図書館サービスの充実												
方針・目標	市民の学習要求に応えるため必要な資料を広く収集・整理し、平等に提供するとともに、暮らしに役立つ利用しやすい図書館となるよう努める。												
目標値	快適な読書環境を提供し、より多くの住民に利用されるよう、毎年実施する利用者満足度調査の評価ポイント5段階中4ポイント以上を目指す。												
事務事業の実績	<p>○図書館資料の充実</p> <p>&lt;蔵書数&gt; H25 166,572冊(うち郷土資料 14,188冊) H24 162,726冊(うち郷土資料 13,938冊)</p> <p>・特色ある蔵書づくり「木に関するコーナー」H25 1,693冊 H24 1,658冊 「宇宙コーナー」、「家読コーナー」</p> <p>○サービス活動の充実と利用の拡大</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>&lt;貸出冊数&gt;</th> <th>個人貸出</th> <th>団体貸出</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>153,523冊</td> <td>9,889冊</td> <td>163,412冊</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>152,594冊</td> <td>9,250冊</td> <td>161,844冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H25) (H24)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス・サービス(参考調査)、読書案内 2,905件 2,991件</li> <li>・リクエスト(予約)サービス 5,843冊 5,513冊</li> <li>・障がい者サービス(家庭配本) 123冊 101冊</li> <li>・県立図書館等公共図書館との相互協力 借受 549冊 533冊 貸出 610冊 507冊</li> <li>・ホームページの整備と管理 アクセス数 31,670件 31,275件</li> </ul> <p>○企画、展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・としょかんおみくじ 年明けに「図書館おみくじ」を行って読書活動の推進を図った。 (大人用300枚 150冊選書 子ども用100枚 家読お勧め本を選書)</li> <li>・子育て支援関連コーナーの設置</li> <li>・としょかん福袋(年末 大人用10袋、子ども用10袋)</li> <li>・おやこわいわいルーム(H25年度224人利用/H24 238人)</li> <li>・宇宙コーナーに関する本の展示(H25年度855冊貸出/H24 824冊)</li> <li>・ティーンズコーナーの設置 (H25年度1,508冊貸出/H24年度1,463冊貸出)</li> <li>・家読コーナーの貸出【新設】</li> <li>・職員のおすすめ本コーナーの設置(約半年)【新規】</li> </ul> <p>○市や社会教育施設等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習・スポーツ振興課との連携:「子育て・家庭教育に関する本」の貸出 小学校向けと保育所向けの本2セット(1セット15冊)を各月ごとに施設へ設置</li> <li>・環境関連図書の展示、紹介、貸出(6月 県環境企画班)</li> <li>・男女共同参画関連図書の展示、貸出(6月下旬 市民活力推進課)</li> <li>・健康づくり課との連携【新規】</li> </ul>	<貸出冊数>	個人貸出	団体貸出	合計	H25	153,523冊	9,889冊	163,412冊	H24	152,594冊	9,250冊	161,844冊
<貸出冊数>	個人貸出	団体貸出	合計										
H25	153,523冊	9,889冊	163,412冊										
H24	152,594冊	9,250冊	161,844冊										

- 3歳児検診時に、保健センターへの育児関係本や絵本の配本（毎月）  
 ・「どの本読もうかな」を市内保育園等に配布（年3回）  
 （読み聞かせおすすめ絵本の紹介）

図書館講座

	事業内容	参加者数
H 2 5	大人のための朗読会（高校）	19人
	「家読」講演会	27人
	「秋田のことば」を考える	40人
H 2 4	大人のための朗読会（高校）	41人
	懐かしの日本映画ポスター展	470人

○子どもの読書活動の振興

◇学校との連携・支援

出前おはなし会

	対象校	参加者数
H 2 5	小学校6校	331人
H 2 4	小学校6校	353人

一日図書館員（小学校6年生） 2人

学校図書館担当者研修会 29人

（市立図書館の学校向け事業について）

学校図書館への配本事業 市内各小学校へ50冊1年間貸出

学校への希望図書の配本

	利用校数	利用回数	利用冊数
H 2 5	4校	17回	275冊
H 2 4	6校	17回	316冊

◇児童サービスの充実

おはなし会

	回数	参加者数
H 2 5	26回	219人
H 2 4	26回	238人

◇ボランティアとの連携

図書館劇場

	回数	参加者数
H 2 5	4回	204人
H 2 4	3回	158人

おはなし会【児童サービスの充実に記載】

	<p>○利用者満足度調査</p> <table border="1" data-bbox="432 197 1401 327"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答者</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>普通</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>252 人</td> <td>128 人</td> <td>85 人</td> <td>34 人</td> <td>5 人</td> <td>0 人</td> <td>4.33</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>278 人</td> <td>126 人</td> <td>95 人</td> <td>49 人</td> <td>7 人</td> <td>1 人</td> <td>4.22</td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価は5段階。 「満足」は5 「やや満足」は4 「普通」は3 「やや不満」は2 「不満」は1</p>		回答者	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	満足度	H25	252 人	128 人	85 人	34 人	5 人	0 人	4.33	H24	278 人	126 人	95 人	49 人	7 人	1 人	4.22
	回答者	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	満足度																		
H25	252 人	128 人	85 人	34 人	5 人	0 人	4.33																		
H24	278 人	126 人	95 人	49 人	7 人	1 人	4.22																		
<p>点 検 ・ 評 価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>○貸出冊数の増加。(個人、団体とも増加した。) ○学校及びボランティアの協力を受けながら子どもの読書活動の振興に努めた。 ○継続事業である高校生による「大人のための朗読会」を8月に開催した。 (参加校は4校で、各校とも独自の取り組みで朗読を披露、本の楽しさを伝えていた。) ○「図書館利用者満足度調査」において、全体的にみた図書館に対する満足度(5点満点中)は、25年度4.33で、24年度4.22を0.11上回った。 ○毎月の3歳児検診時に、母親用に子育て関係図書や子ども用に絵本を保健センターに配本し、図書の活用で育児支援を図った。【新規】 ○家読推進プロジェクトリーダー佐川氏を講師に招いて、「家族で読書」の大切さや先進地の活動状況について講演を行った。(10月19日 聴講者27人) ○放送大学連携セミナーとして、秋田大学佐藤助教授の「秋田のことばを考える。」をテーマにした講演を行った。また、NHKラジオ第2放送の公開収録が同時に行われた。(11月9日 聴講者40人) ○「としょかん福袋」や「図書館おみくじ」を行って読書活動の推進を図った。</p>																								
<p>課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>○年々増加する図書資料に対応するため、書庫の収容スペースの検討を行う。 ○市民の学習要求及び利便性に応えられるよう図書資料の充実を図る。 (図書3,900冊購入予定。所蔵のない図書は相互貸借制度で他図書館から借受) ○学校や家庭、関係機関との連携を図りながら、読書活動の充実に努めていく。 (県で選定した推奨図書50選と当館推薦図書を展示し貸出を行い、「家族で読書」活動を推進していく。また、家読ノートの活用や家読メモ帳の配布などを通し周知を図る。) ○痛みの激しい図書や資料価値のなくなった図書について、除籍を進めていく。 ○「宇宙」、「国民文化祭(能代市関係の茶道、現代舞踊、ミュージカル)」、「家読」、「健康」を意識した図書の購入を図る。 ○多様化する住民ニーズに効果的かつ効率的に対応し、住民サービスの向上を図るため指定管理者制度導入の検討を行う。 ○雑誌の充実を図るため、「雑誌スポンサー制度」の導入を検討する。 ○市民アンケートで、図書館を利用していない市民が4割との結果により、開館時間等を検討したい。</p>																								

<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 様々な努力、取り組みがなされており、高く評価できる。取り組みを継続するとともに、可能な範囲で開館時間等の利便性の向上に努めていただきたい。</p> <p>② 「図書館おみくじ」や「としょかん福袋」を企画したり、「家読コーナー」を設置したりするなどの取組が、貸出冊数の増加につながったと思う。今後とも学校や関係機関と連携を図りながら、読書活動の充実に努めてほしい。</p> <p>③ 利用者満足度調査の結果（4.33）は前年度を上回るもので、良好であると思う。今後とも、市民の読書に関するニーズを把握しながら、一人でも多くの方が本に親しみ、読書を楽しめるような図書館運営を目指してほしい。</p>
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



### 3 社会教育

【子ども館】

施策の項目	(6) 気軽に交流できる環境づくり																						
方針・目標	市民の興味や関心を高めるような、施設を利用したイベント・講座を提供し、子どもから大人まで幅広く気軽に交流できる子ども館を目指す。																						
目標値	・JAXAや秋田大学、他機関との連携を強化し、講座やイベント等の充実を図り、来館者数36,000人を目指す。																						
事務事業の実績	<p>○利用状況の推移</p> <table border="1" data-bbox="427 510 1398 745"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総利用者数</td> <td>32,271人</td> <td>34,991人</td> <td>34,379人</td> </tr> <tr> <td>プラネタリウム観覧者数</td> <td>4,915人</td> <td>5,177人</td> <td>6,280人</td> </tr> <tr> <td>事業活動参加者数</td> <td>(115件)6,743人</td> <td>(100件)7,473人</td> <td>(124件)7,672人</td> </tr> <tr> <td>プラネタリウム団体観覧者数</td> <td>(69件)2,194人</td> <td>(60件)1,940件</td> <td>(47件)1,586人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○新規イベント・講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学遊び（ゴールデンウィーク）（10件 797人）</li> <li>・「はやぶさ」の日イベント（ペーパークラフト）（4件 57人）</li> <li>・コスミックカレッジ「太陽系の惑星を調べよう」（1件 37人）</li> <li>・パブリックビューイング（3件 149人）</li> <li>・モデルロケット教室（2件 40人）</li> <li>・宇宙教育ボランティア養成講座（1件 14人）</li> </ul> <p>○特別イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀河フェスティバルin能代2013（10/5・6 673人） 水ロケット製作&amp;打ち上げ体験（2日間 122人） プラネタリウム無料上映（10回 673人） ロケット発射音響体験 2階宇宙館JAXA教授による説明</li> </ul> <p>○宇宙科学への関心を高め、来館者のニーズに応える工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙検定の実施（上級、中級、初級）</li> <li>・子ども館館内ウォークラリーの実施</li> <li>・2階展示室ガイド</li> </ul>				平成25年度	平成24年度	平成23年度	総利用者数	32,271人	34,991人	34,379人	プラネタリウム観覧者数	4,915人	5,177人	6,280人	事業活動参加者数	(115件)6,743人	(100件)7,473人	(124件)7,672人	プラネタリウム団体観覧者数	(69件)2,194人	(60件)1,940件	(47件)1,586人
	平成25年度	平成24年度	平成23年度																				
総利用者数	32,271人	34,991人	34,379人																				
プラネタリウム観覧者数	4,915人	5,177人	6,280人																				
事業活動参加者数	(115件)6,743人	(100件)7,473人	(124件)7,672人																				
プラネタリウム団体観覧者数	(69件)2,194人	(60件)1,940件	(47件)1,586人																				
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る																						
	<p>[説明]</p> <p>・平成23年度は「はやぶさ」の帰還カプセルの展示。それに伴うプラネタリウムの投影機の更新（「HAYABUSA」を上映）により、ここ数年では入館者数もプラネタリウム観覧者数も大幅に増えた。また、平成24年度は、リニューアルの効果もあり、入館者数は増えた。平成25年度は大きなイベントもなかったため、入館者数及びプラネタリウム観覧者数ともに減少した。また、</p>																						

	<p>銀河フェスティバルの開催時期を秋田ディスティネーションキャンペーンの時期に合わせたが、集客できなかつたのも一因である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度は指導主事を配置し、プラネタリウムの団体利用者数は増加した。これは、学習プラネタリウムの利用が増加したためであり、子ども館と各小学校との連携が今まで以上に図られたと考えられる。</li> <li>・「宇宙のまちづくり」の一翼を担うため、2階宇宙館の案内をはじめモデルロケット教室等、子ども館では様々な宇宙に関する講座や取り組みを行っている。その結果、市民はもちろんのこと市外からも多くの方が来館するようになってきた。</li> </ul>
<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充    <input checked="" type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他（                      ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>○宇宙教育について</p> <p>今まで取り組んできた内容はより充実して継続して実施していくが、更に宇宙教育を充実させるため、次の事業に新たに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙教育指導者セミナーの開催（JAXA主催）</li> <li>・ペットボトルロケットの製作・打ち上げ講習会（子ども館主催）</li> <li>・宇宙少年団ノシロ分団への協力</li> <li>・宇宙教育の更なる情報発信（JAXA動画ニュース等の放映）</li> </ul> <p>○小・中学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校理科担当者研修会の実施</li> <li>・出前講座の実施</li> </ul> <p>○平成26年度から講座参加者にアンケート調査を実施し、来館者の満足度を目標値として設定し、今度の方向性を探っていきたい。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>① 少子化が進む中で、努力が重ねられており、高く評価できる。アンケート調査等での満足度や、自由記述等をもとにした改善活動を評価の指標にさせていただくとともに来館者数については、市内の小中学生数をもとに、100人あたりの来館者数などを指標にすることが考えられるので、検討をお願いしたい。</p> <p>① 小学校のプラネタリウム利用が増えたことは喜ばしいことである。理科の指導主事の配置により、学習効果が高まったこともその一因と思う。今後とも、学習の場としての子ども館を目指し、小学校等と連携を図りながら運営にあたってほしい。</p> <p>② 「ペットボトルロケットの制作・打ち上げ講習会」を開催したり、「宇宙少年団ノシロ分団」を設立したりするなど、様々な取組を通して「宇宙のまちづくり」を進めている。引き続き、魅力ある展示やイベント、講座となるよう工夫してほしい。</p>

#### 4 市民体育

【生涯学習・スポーツ振興課】

<p>施策の項目</p>	<p>(1) スポーツを楽しめる環境を整える</p>
<p>方針・目標</p>	<p>健康増進や生きがいづくりなど、幅広い年代層の多様なニーズに応じた生涯スポーツを進めていくため、地域の交流活動を推進する総合型スポーツクラブの設立やスポーツ活動の推進への支援、各種スポーツ大会の支援など、スポーツを楽しめる環境を整える。</p>
<p>目標値</p>	<p>①スポーツに親しんでいる市民（週一回以上）の割合の平成29年度の目標を60%とする。 ※設定根拠／市民意識調査                  ②生涯スポーツの振興事業参加率が前年度を上回ること                  前年度参加率97.8%＝8,502人÷8,690人                  ※参加率＝参加者数÷参加予定人数（能代市生涯学習関連事業における人数）                  ③チャレンジデー参加率が前年度の全国平均を上回ること                  前年度全国平均参加率 47.4%                  ※能代市と同等の人口規模の自治体（カテゴリー4 30,000～69,999人）の平均参加率</p>
<p>事務事業の実績</p>	<p>①スポーツに親しんでいる市民（週一回以上）の割合 48.6%（前年比0.8ポイント増）                  ②ニーズや能力に応じた活動の場の確保や多彩なプログラムを提供し、継続的なスポーツ活動の普及、振興を図るため、各種スポーツ教室や各種大会を開催した。事業は、教育委員会の直営による事業やNPO法人能代市体育協会等スポーツ団体への委託により実施した。                  事業参加者の意向をアンケート調査し、今年度の事業に反映させたところであるが、生涯スポーツの振興事業参加率は90%（H25参加者数8,380人÷H25参加予定人数9,310人）となった。新たな事業を各種団体と連携して実施し、スポーツ活動の普及に努めた。                  ③チャレンジデーの周知にあたり、防災行政無線、広報車巡回、広報のしる、新聞への広告掲載、広報動画の配信、自治会や事業所、団体等への協力依頼等、周知・PRに努めたが、参加率は26.4%に留まり、全国平均47.4%には届かなかった。</p>
<p>点検評価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る    <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり    <input checked="" type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>①市民のスポーツニーズの把握に努め、スポーツの普及・振興に係る事業が実施された。                  ②各種スポーツ教室や事業の開催にあたり、ますます多様化・高度化する市民のスポーツニーズを把握し、それに沿った事業展開を図った。NPO法人能代市体育協会（スポーツ施設指定管理者）やスポーツ推進委員（25人）、総合型スポーツクラブ（3団体）等の主管により、効率的な事業運営がなされた。                  ③初参加で周知・PRに課題があったが、市民のチャレンジデーに対する意識の醸成が僅かではあるが図られた。今後は早めにPR活動を行うとともに、組織的な参加を促し、参加プログラム等の充実を図るよう、関係団体への働きかけを行う。</p>



### III 教育委員会の運営状況

(1) 教育委員会の開催状況

① 開催状況

定例会 12回 臨時会 2回

② 審議された案件等

年月日	区分	番 号	件 名
H25. 4. 25	定例会	議案 第 23 号	教育長職務代理者の指定について
		議案 第 24 号	能代市立小、中学校学校評議員の委嘱について
		議案 第 25 号	能代市社会教育委員の委嘱について
		議案 第 26 号	能代市公民館運営審議会委員の委嘱について
		議案 第 27 号	能代市立図書館協議会委員の任命について
		議案 第 28 号	能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について
		報告 第 29 号	能代市文化会館運営協議会委員の委嘱について
H25. 5. 24	定例会	報告 第 5 号	能代市奨学選考委員会委員の委嘱について
		議案 第 30 号	能代市立図書館協議会委員の任命について
H25. 6. 27	定例会	議案 第 31 号	能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について
		協議 3	平成25年度能代市一般会計補正予算について
		報告 第 6 号	能代市青少年問題協議会委員の委嘱について
		議案 第 32 号	能代市個人演説会の設備の程度及び候補者が納付すべき費用の額に関する規則の一部改正について
		議案 第 33 号	能代市公民館運営審議会委員の委嘱について
		報告 第 7 号	能代市生涯学習推進協議会委員の委嘱について
H25. 7. 25	定例会	報告 第 8 号	能代市青少年問題協議会委員の委嘱について
		報告 第 9 号	能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について
		報告 第 10 号	平成25年度能代市一般会計補正予算について
		報告 第 11 号	能代市青少年問題協議会委員の委嘱について
H25. 8. 26	定例会	議案 第 34 号	能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
H25. 9. 24	定例会	協議 4	平成25年度能代市一般会計補正予算について
		議案 第 35 号	能代市中心身障害児就学指導委員会委員の任命について
H25. 10. 24	定例会	報告 第 12 号	専決処分した損害賠償の額を定め和解することの報告について
		議案 第 36 号	能代市中心身障害児就学指導委員会委員の任命について
H25. 11. 21	定例会	協議 5	能代市社会教育委員の定数等に関する条例の一部改正について
		報告 第 13 号	専決処分した平成25年度能代市一般会計補正予算について
		協議 6	能代市中央公民館、能代市文化会館、能代市勤労青少年ホーム及び能代市働く婦人の家の指定管理者の指定について
H25. 12. 26	定例会	協議 7	平成25年度能代市一般会計補正予算について（12月補正）
		報告 第 14 号	平成25年度能代市一般会計補正予算について（11月補正）
		議案 第 37 号	能代市社会教育委員の会議に関する規則の一部改正について
H26. 1. 23	定例会	議案 第 38 号	学校給食費の額の改定について
		議案 第 1 号	能代市いじめ防止基本方針について
H25. 2. 18	定例会	議案 第 2 号	能代市学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について
		議案 第 3 号	能代市学校跡地施設の管理運営に関する要綱及び旧淳城第二小学校施設の開放に関する要綱の廃止について
		協議 1	能代市文化会館条例の一部改正について
		協議 2	平成25年度能代市一般会計補正予算について
		協議 3	平成26年度能代市一般会計予算について
H26. 3. 4	臨時会	議案 第 4 号	学校運営協議会を設置する学校の指定について
		議案 第 5 号	学校運営協議会委員の任命について
		議案 第 6 号	平成26年度能代市立小・中学校教職員の人事異動について
H26. 3. 24	臨時会	議案 第 7 号	平成26年度能代市教育委員会関係職員の人事異動について
H26. 3. 27	定例会	議案 第 8 号	能代市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		議案 第 9 号	能代市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
		議案 第 10 号	能代市招致外国青年の勤務条件等に関する規則の一部改正について
		議案 第 11 号	能代市公民館の管理運営に関する規則等の一部改正について
		議案 第 12 号	能代市公民館処務規程の一部改正について
		議案 第 13 号	能代市勤労青少年ホーム処務規程等の廃止について
		議案 第 14 号	能代市就学援助費支給要綱の一部改正について

年月日	区分	番号	件名
H26. 3. 27	定例会	議案 第 15 号	能代市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱の制定について
		議案 第 16 号	能代市子ども館指導員に関する要綱の一部改正について
		議案 第 17 号	能代市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱の制定について
		議案 第 18 号	能代市学校医の委嘱について
		議案 第 19 号	能代市学校薬剤師の委嘱について
		議案 第 20 号	能代市教育相談員の委嘱について
		議案 第 21 号	能代市適応指導教室指導員の委嘱について
		議案 第 22 号	能代市中心の教室相談員の委嘱について
		議案 第 23 号	能代市社会教育指導員の委嘱について
		議案 第 24 号	能代市子ども館館長の任命について
		議案 第 25 号	能代市子ども館指導員の委嘱について
		議案 第 26 号	能代市二ツ井公民館分館長及び主事補の委嘱について
		議案 第 27 号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
		議案 第 28 号	平成 26 年度能代市教育委員会の重点目標について
		議案 第 29 号	平成 26 年度能代市学校教育指導の重点について
		議案 第 30 号	平成 26 年度能代市公民館運営方針について
		議案 第 31 号	平成 26 年度能代市文化会館運営方針について
		議案 第 32 号	平成 26 年度能代市立図書館運営方針について
		議案 第 33 号	平成 26 年度能代市子ども館運営方針について
		議案 第 34 号	平成 26 年度能代市勤労青少年ホーム運営方針について
		議案 第 35 号	平成 26 年度能代市働く婦人の家運営方針について
		議案 第 36 号	平成 26 年度能代市市民体育基本方針について
		報告 第 1 号	平成 26 年度能代市生涯学習推進方針について
		報告 第 2 号	平成 26 年度能代市青少年健全育成活動方針について
		報告 第 3 号	専決処分した損害賠償の額を定め和解することの報告について
		報告 第 4 号	専決処分した損害賠償の額を定め和解することの報告について

(2) 教育委員の活動状況

年月日	行事
H25. 7. 4	平成 25 年度全県市町村教育委員会委員長・教育長会議 (第 1 回)
H25. 7. 12	平成 25 年度東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会
H25. 10. 22	平成 25 年度全県市町村教育委員会委員長・教育長会議 (第 2 回)
H25. 10. 22	秋田県市町村教育委員会連合会平成 25 年度第 2 回定期総会及び委員研修会
H25. 10. 8 ~11. 21	教育長の学校訪問へ教育委員同行 (能代南中、浅内小、竹生小、朴瀬小、鶴形小、二ツ井中、第四小、二ツ井小、東雲中、能代二中、淳城西小、能代東中、向能代小、常盤小・中、崇徳小、淳城南小、能代一中、第五小)

能代市教育委員会事務点検・評価報告書  
(25年度対象)

能代市教育委員会

〒018-3192

能代市二ツ井町字上台1番地1

(担当 教育総務課)

電 話 0185-73-2757

FAX 0185-73-6459

E-mail [kyouiku@city.noshoro.akita.jp](mailto:kyouiku@city.noshoro.akita.jp)

